

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における安全・安心で快適な都市づくり（通学路等の安全確保）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	姫路市												
計画の目標	<p>交通機関が集中する姫路市中心部は、街路整備を行い通過交通や集中交通の効果的な分散化を図り、播磨地域の母都市で世界文化遺産姫路城を核とした国際観光都市としてふさわしい都市基盤を形成することにより、中心市街地の賑わいを創出する。</p> <p>生活基盤を支える市町村道を整備し、最寄の鉄道駅への利便性及び安全性を高めつつ、快適で安心な複数のコンパクトで充実した地域生活圏を形成する。</p> <p>また、この地域生活圏相互や都心部への移動利便性及び安全性の向上を図ろうとするものである。</p> <p>道路管理者、教育委員会、警察等が連携して通学路の緊急合同点検または定期的な合同点検を実施し、早急に対応が必要と判断された通学路に対策を実施し、児童への交通の安全を早期に確保する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,153	A	2,153	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R3末)
1	<p>道路交通における死傷事故を平成26年と比較して約1割削減する。</p> <p>姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。</p>	4034件	3746件	3630件
2	<p>公共交通乗車人員を平成26年と比較して9%増加させる。</p> <p>姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。</p> <p>(市内の鉄道・バス1日平均乗車人員) = (市内の鉄道・バス年間乗車人員) / (当該年度の日数)</p>	156102人/日	168922人/日	170734人/日
3	<p>通学路における危険箇所の解消率。</p> <p>通学路における危険箇所の解消率</p> <p>(対策整備済延長) / (事業実施箇所のうち道路管理者の対策整備延長)</p>	7%	48%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)内環状東線	現道拡幅 L=190m W=30m	姫路市						48	-		
	旧要素事業番号:A-1																			
	A01-002	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)内環状東線(北工区)	現道拡幅 L=210m W=30m	姫路市						247	-		
	旧要素事業番号:A-2																			
	A01-003	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)内々環状南線	現道拡幅 L=160m W=20m	姫路市						16	-		
	旧要素事業番号:A-3																			
	A01-004	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)市之郷線	駅前広場・現道拡幅 L=444m W=15~18m	姫路市						330	-		
	旧要素事業番号:A-4																			
	A01-005	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	新設	(都)熊見線ほか1路線	駅前広場・道路新設 L=832m W=16~25m	姫路市						131	-		
	旧要素事業番号:A-5																			
	A01-006	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	交安	幹第43号線	電線共同溝 L=900m	姫路市						107	-		
	旧要素事業番号:A-6 種別2:電線共同溝																			
	A01-007	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	区画	改築	JR網干駅前地区((都)網干線ほか1路線)	区画整理 A=5.0ha	姫路市						108	-		
	旧要素事業番号:A-7																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	交安	大塩133号線ほか2路線	歩道橋設計、物件調査	姫路市						11	-	
	A01-009	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	新設	大塩133号線	歩道橋L=90m	姫路市						720	-	
	A01-010	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	交安	幹第59号線ほか1路線	踏切構造改良、駅前広場、現道拡幅	姫路市						366	-	
	A01-011	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)四ツ池線ほか1路線	現道拡幅 L=168m W=19m	姫路市						26	-	
	A01-012	街路	一般	姫路市	直接	姫路市	S街路	改築	(都)亀山線	現道拡幅 L=71m W=16m	姫路市						9	-	
	A01-013	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	市町村道	交安	幹第43号線自転車レーン整備	自転車通行空間整備 L=0.9km	姫路市						34	-	
												小計						2,153	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						2,153		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	297	137	297	185	135
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	297	137	297	185	135
前年度からの繰越額 (d)	0	80	20	233	130
支払済額 (e)	217	197	84	288	265
翌年度繰越額 (f)	80	20	233	130	0
うち未契約繰越額(g)	17	0	30	1	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.72	0	9.46	0.23	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における安全・安心で快適な都市づくり（通学路等の安全確保）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合 1) 基本方針と適合し、上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○

